

インチョン、瀋陽 そして ソウル

佐々木甚一

はじめに

中国医科大学との産学共同研究の結果を検討するため、会社社長と2012年5月23日に青森空港を出発した。

往路インチョン泊で、翌早朝 瀋陽に向かいそこで一泊。帰路ソウルにさらに二泊のショート トリップでした。

中国医科大学での実験結果は予想通りの成績でした。

医科大が新キャンパスに移転すると言ってから3年経ちましたが、未だ移転していないとのこと。移転は今夏とのこと。

瀋陽では呂教授が夕食会を準備。弘前大学、岩手医科大学で研究生活を送った中国医科大学教官との夕食会でした。

知己の友人たちはみな元気に頑張っていました。

仕事を終えた帰路のソウルは「食の旅」でした。

ビジネスクラスでの旅は初めてでした



会社が準備してくれたのでビジネスに乗れました。

往路初日はインチョン泊、夕暮れ時の街風景



(左)は繁華街の中心部で、(右)は屋外レストラン。夕食のためにホテル推薦の焼き肉屋へ。ホテルへ帰る頃は屋外テーブル(右)は満杯でした。

インチョンでの夕食は韓国名物の焼き肉屋で



ホテル推薦の焼き肉店へ直行。ビールで乾杯し焼き肉の準備。右写真の上から突き出たものは排煙筒で、店内は学生風の若者で混んでいました。

これが初めて食べた生肉「ユッケ」です



日本ではユッケによる「0157食中毒」が発生 死者が出た。初めて生で食べました。韓国ではニンニクを肉に混ぜるので0157はないとTVで。最後はユッケを焼き肉にして食しました。

往路で泊ったインチョンホテル



靴を脱ぎスリッパに履き替え部屋に入る。何処となくレトロ調の部屋で日本の旅館タイプ。ちょうどNHKTVは「ヒブワクチン」のニュースを放映中でした。

夕食後は韓国野球を



ビールを飲み、ユッケ・焼き肉も食べ、キムチも食べてホテルで野球観戦。
双方点数がはいり過ぎたのでずいぶん遅くまで放映していました。

韓国の人気歌手でしょうか？

朝日新聞 耕論より(2012,11,21)



PSY(サイ)

77年生まれの韓国人歌手。7月に発表した「江南カンナム」スタイルは腰をくねらせ、腕を振り回すコミカルな「乗馬ダンス」と共に爆発的な人気を呼び、米ビルボードチャート2位になるなど世界中で大ヒット。

そして翌早朝、インチョンから瀋陽に移動 泊ったホテルは「ホリデー・イン」



インチョンもそうでしたが、瀋陽でも室内灯のスイッチはベッドサイドになく、消灯するためにスイッチ探し。部屋中歩き回り眠気がさめてしまいました。ベッドは良かった。

ホテルから出ると正面に大学第一病院



(左) 正面は大学第一病院。病院の上層階で夕食会をやってもらいました。
(右) は近くの「太原街」への途中にあるコンビニ店の内部とスタッフ。

免疫学講座の入っている基礎研究棟入り口



満州医大当時に建てられた建物が今は基礎研究棟になっている。

午後、呂教授の部屋で研究結果の評価



(左)は呂の弟子 王大南。大学第二病院の副院長から遼寧省衛生庁 庁長に出世で呂の自慢です。黒ニンニク論文のファースト オーサーでもありヒトを育てることの大切さです。

呂教授室でのパソコンを見ながらデータ解析



左は中国語のできる同行した会社の阿部さんです。

弘前大・岩手医大 元留学生との夕食会



右から、李先生、朱教授、何教授、呂教授
左の黒服の女性は産婦人科の劉川先生



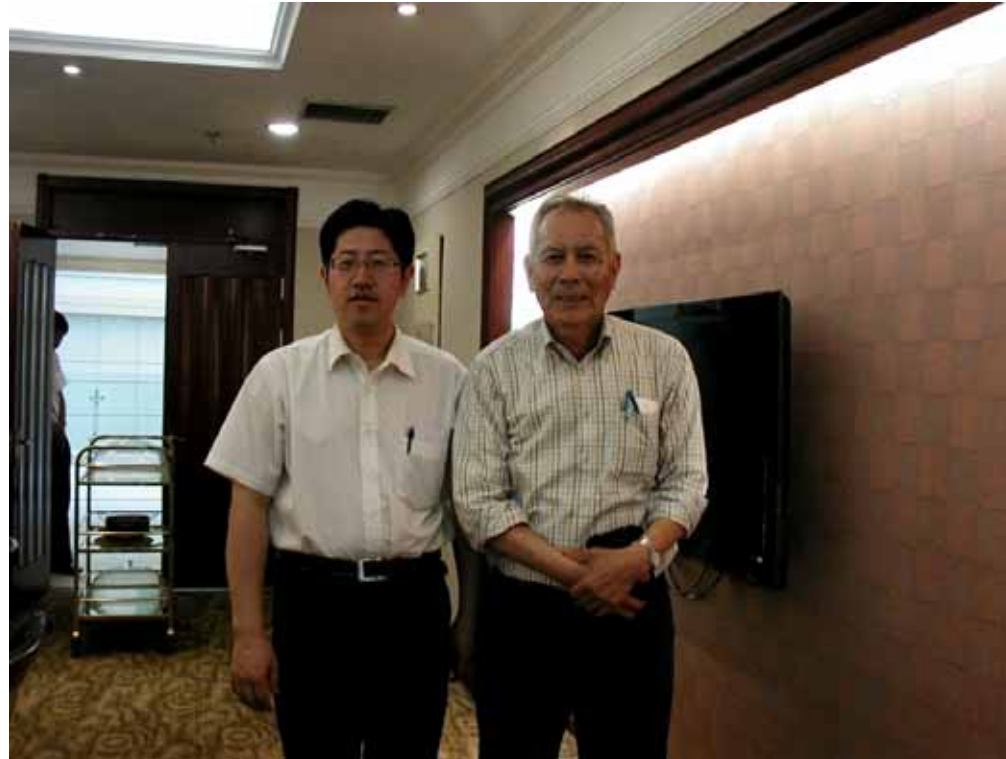
右から、朱精神科教授、何内科教授、呂免疫学教授。弘前大で学位を取得した教授達です。歯科の教授も弘前大出身です。

岩手医大で働いていた産婦人科医・劉川先生



岩手医科大学で研修した劉川先生です。優しさがとても印象的な女医さんで、今は中国医科大の大学病院で働いているとのことでした。家内にお土産を準備してくれていました。学生時代は日本語クラスの生徒であったとのことでした。

李先生です



弘前大学の細菌学講座で学位をとり、現在、呂教授の免疫学講座で研究。今回、私たちの世話は全て李さんがやってくれました。多謝。

帰路の瀋陽空港で



ホテルを7時に出発し瀋陽空港へ。空港は拡張工事中でした。2013年はモンゴルで呂会長のもとで免疫学会 講演を依頼されました。モンゴルは是非行ってみたい。

瀋陽空港からインチョン空港へ

건강상태 질문서
健康状態質問書 HEALTH QUESTIONNAIRE

성명(氏名) Name	JANICE SABAN	도착 예정일(到達予定日) Arrival Date(TIME)	3/12 5/25
국가(国籍) Nationality	JAPAN	비행기, 열차, 자동차편 (飛機・航空機・列車・自動車) Vehicle / Flight / Train / Car No.	KE 832
항공권(항공권번호) Flight No.	TK 47118Y	출발일(出発日) Date	07/8
출발항(출발도시) From (Departure City)	YUL	최근 출국한 도시 (출발 도시) Last arrival city (or city) From the city (country)	
출발일자 Date	4/23	출발시간(출발時刻) (출발 시간) Departure Time (Time)	
연락처(連絡先) Contact address in Korea	Hotel Gyeongju		

최근 10일 동안의 모든 국가(지역) 여행을 기입해 주십시오. (過去10日間の海外旅行を記入してください)

China

최근 10일 동안에 아래 증상이 있었거나 있는 경우 해당항에 "X" 표시를 해 주십시오.
(過去10日間の間に以下の症状があったりある場合は該当欄に"X"を記入してください)

Please check "X" mark "X" if you have or have had any of the following symptoms during the past 10 days before arrival.

[] 열을 앓은 고열(熱) (熱) (熱)	[] 인후통(咽頭痛) (咽頭痛)	[] 기침(咳嗽) (咳嗽)	[] 발열(發熱・寒熱) (發熱・寒熱)
[] 혼란(昏亂) (昏亂)	[] 구토(嘔吐) (嘔吐)	[] 설사(瀉) (瀉)	[] 호흡곤란(呼吸困難) (呼吸困難)
[] 두통(頭痛) (頭痛)	[] 근육통(肌肉痛) (肌肉痛)	[] 눈물(涙) (涙)	[] 눈물(涙) (涙)

건강상태 질문서 작성할 때 주의사항: 기입사항이 사실대로 작성되어 있음을 증명할 수 있는 경우 '감염병, 제2차 및 제3차의 국가 (1) 이하의 경우 또는 1항의 이하의 경우에 치할 수 있습니다.)

If you make a false statement concerning your health or fail to fill in the Health Questionnaire, you may face a sentence of up to one year of imprisonment or up to 10 million won in fine, in accordance with Article 12 and 38 of the Quarantine Act.

健康状態質問書作成時注意: 記入事項が事実であることを証明できる場合は「感染症、第2次及び第3次の国家(1)以下の場合又は1項の以下の場合に処罰を受ける可能性があります。)

국립인천공항감염예수질 부서
Incheon Airport National Quarantine Officer Ministry for Health and Welfare
Republic of Korea



機内で渡されたヘルス・チェックシート(左)。中国に入る時はなかったが韓国に入る時はありました。右は離陸直後の瀋陽空港近辺の風景です。

ソウルでの宿は南山区「ハミルトン・ホテル」でした



このハイヤーには「国際ハイヤー・日本語ができる」と書いてあります。社長さんと韓さんは昔からの知り合いとのこと。食事でもいい店を案内してもらいました。

ホテルはソウル南山界隈にありました

ハミルトン・ホテル



ハミルトン・ホテル(矢印)前を東西に走る梨泰院路には多くの店が並び偽ブランド店が多いとのこと。ホテル前の路を直進すると両側が骨董品店。また向かって通りの左側に戦争記念館が見える。下の河は「漢江」である。

ハミルトン・ホテルからの風景



ホテルの部屋からの街風景。私が外国生活をした最初の地はアメリカの「ハミルトン」の名を持つ村でした。ホテル前の路(左矢印)を緩やかに下っていくと「漢江」にでます。その途中の両側が骨董屋でした。

ホテルフロントにあったソウルの昔の市場絵図



ホテルの裏側にある観光客用の小路



ソウルに着いた午後 社長とお茶のみに裏小路に行きました。神戸の山の手のような雰囲気です。外を通る人々を眺めながらのお茶時間でした。外国人が多かったです。

小路の午後の風景です



値段表です。ウォンを円にするには末尾の0を取り0.8を掛けるということです。なるほど。

ハミルトンホテルの裏通りでの一休みです



「雑貨屋さん」



私はブランド品には全く興味がないが、このようなジャンク物には大いに興味がある。家には100円帽子が20個ほどある。「ブラジルレストラン」恥ずかしがらずにどうぞ。

小路で見たソウルの犬君達です



大通りの「梨泰院路」にでました



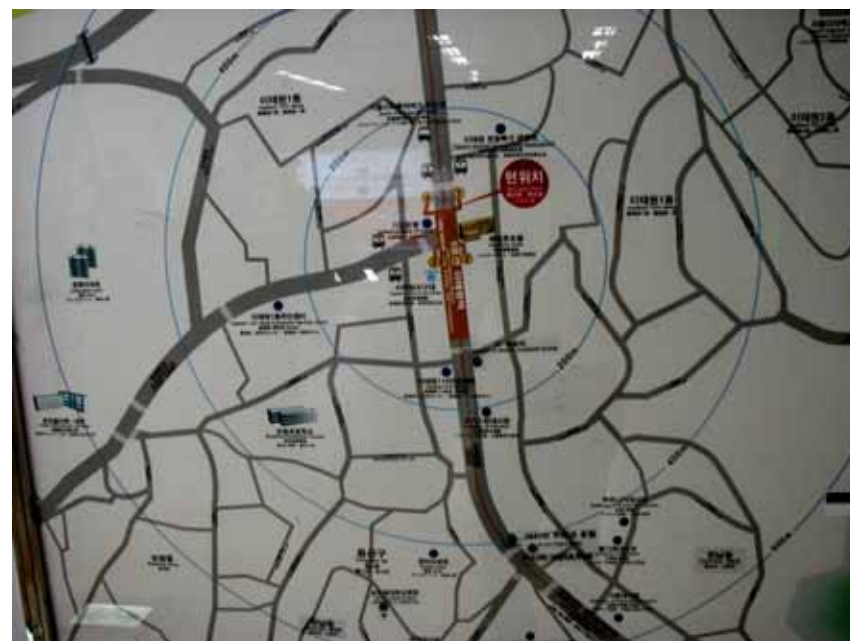
このオバサンはコーヒー、お茶などの飲み物を売っていました。「ピース」をサービスしてくれて。その隣は帽子屋でした。

「大通り・梨泰院路」の風景



この通りは偽物品を売る店が多いとのことですが…。

ホテル前は地下鉄の入口です



この道を横切り右側にある道を下っていくと「漢江」に出ます。(右)は地下鉄の地図です。今回は乗らなかった。

降りていくと出札口



右の広告版に「レーザークリニック、無痛システム」の文字が見える。「漢江」の対岸には美容整形の医院が多く、みな整形に熱中しているとのこと。

夕食は韓さんに食事処へ案内してもらいました 「軍隊鍋」を食べるために



運転手さんの韓さんと同行した社員の阿部さん。彼女は中国語ができるので同行、北京に留学経験があるとのこと。大学の専攻はロシア語と言っていました。

高岩食堂での「軍隊鍋」



今回の旅では数日間食べて飲んでばかりいました。困ったもんです。この鍋は簡単なので一人の時にやってみようと思っています。(右)は「軍隊鍋スープご飯」です。

それから夕方の「ソウルタワー」に登りに



ケーブルでタワー頂上まで登りました。ソウルを一望できる展望スポットです。若いカップルの行く場所とのことです。頂上広場のソウルの子供。

ソウルタワーの広場と「恋祈願」のお札(右)？



クリスマスツリーに見えたがまだ早いと思い近づいて見ると…。なんとお札。

ソウルのシンボルタワーと市街風景です



ソウルはランドマークがあるので迷わないと思います。パリのエッフェル塔のように。

翌日10時にハイヤーで市内観光 梨花女子大学へ



大学を見たいと要望した。一つは延世大学、もう一つは梨花女子大学(右)である。梨大の周辺はウエディングドレス・ショップが多く、地図に「Wedding Street」の名が付いている。本当は「墓地」も見たいと希望したんですが市内では見れないらしいです。

延世大学です 本部と思います



私立大学の名門で1915年アメリカ人の宣教師が開いた学校からスタートしたとのこと。広大なキャンパスが印象的でした。学生と話をしたかったが。

市内にある延世大学病院



総合大学で全ての学部が揃っているとのこと。ハイヤーの中からの撮った写真でこれが本当の動画ですかね？

歩行者専用観光街の通り



この通りは良かった。歩行者専用路のこの通りでお茶を飲みました。提灯が見えます。お寺の行事で飾ってあるとのことでした。もっと見たい通りでした。

朝早かったが「韓国伝統茶店」に入りました



この通りで見つけた二階の喫茶店に入りました。落ち着いた静かな店でした。二階からの眺めです。

私は「漢方茶」を注文しました



苦いかなと思いましたがほどほどに甘く10種類くらいのハーブが入っていました(右)。
(左)は店内のようすです。

昼食にはまたまた麺を希望



韓国の冷麺は盛岡のものより細く美味しかったです。予備のメンもついてきましたが私はそれも全部食べてしまいました。

ハミルトン・ホテルからの散歩コースです(赤線)



ゆっくりと休み休みで2時間位で回りました。その後モスク(右)に行きました

坂を下り「漢江」を見に行く



(右)は喫茶店のようでした。

ホテル前を横断すると骨董屋街になっていました(1)



ホテル前の路を横断すると骨董店街。右は佛壇ですかね。どうもそのように見えますが。

道路の左右に骨董屋は続きます(2)



「八百屋」の店頭にはガーリックが



小さな坂のある街には魅かれる。そしてこのような小さな店もいい。それはそこに暮らす人達の生活が見えるからだと思う。

「漢江」の望める高台にあった「將軍位牌堂」



中には入れないとのことでした。日本語での説明文があります。

ぶらぶら歩いて30分で「漢江」に着きました



北朝鮮の江原道に源を発した「北韓江」と、韓国の江原道南部を源とする「南漢江」が合流、ソウル市内を流れて黄海に注ぐ500キロの大河である。

「ヨンサン・ファミリーパーク」



その日は大変暑かった。公園で休み休み歩きました。休憩した東屋の莫蔭の上に花一輪がありました。

帰路での「梨泰院路」



前方左のビルが宿泊ホテルです。私の部屋は道路側でした。

健康食品・ハーブの店



健康食品店のオーナーは東南アジア系のようでした。多分インド人です。

ホテル近くの皮膚科クリニックです



「ボトックス」の文字が見えます(左)。これはボツリヌス菌の毒素を使っでの「皺とり」と思います。日本では毒素を使うため講習を受けた医師が使用できるようになっています。日本のTV放映を参考までに。韓国は美容整形が多いと聞きました。

イスラム寺院の正面(左)



韓国唯一の本格的なイスラム寺院(左)とこのことで、夕方の礼拝時に信者が三々五々集まってきました。寺院近くにはアジア系の店が多くありました。

ソウル最後の夕食「海鮮鍋」です



運転手さんから案内されて「海鮮鍋」を食べに30分ほど離れた店に行きました。左矢印は蚕の幼虫、右の鍋には生きたタコが。蓋を抑えないとタコが逃げ出すので蓋を押さえて火を入れる。最後に店員が大きなハサミでタコ、蟹の足を短く切ってドーズ！

ソウルの歩道(左)と私邸の扉



旅最後日のインチョン空港のVIPルームで



社長の計らいで初めてビジネスクラス(KALではプレステージと言うらしいです)での旅でした。空港では特別室で飲食ができ、機内では座席も大きく接待もよかったです。短かったですが楽しい旅でした。多謝。